

氏名	末 長 敢
学位の種類	医学博士
学位授与番号	博甲第 732 号
学位授与の日付	平成元年3月28日
学位授与の要件	医学研究科外科系整形外科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	慢性関節リウマチ膝関節における骨・軟骨移行部の病態に関する研究
論文審査委員	教授 寺本 滋      教授 折田薫三      教授 赤木忠厚

### 学位論文内容の要旨

慢性関節リウマチ19例の骨・軟骨標本を用い、hematoxylin-eosin染色，safranin-O染色，peroxidase-antiperoxidase法によるlysozyme染色，S-100蛋白染色を行い光顕的観察を行った。

関節軟骨の侵食破壊に関して，進行過程を軟骨の残存度から4段階に分類したが，軟骨と骨・軟骨移行部は，表層の線維性肉芽組織と骨髄内肉芽組織の双方により侵食破壊を受けていた。これらの変化は同時に起こりつつあるものと考えられた。

また，線維性肉芽組織による骨・軟骨移行部の侵食像をみる部分では単核の大型細胞にS-100蛋白染色陽性像がみられ，これは軟骨由来の細胞と思われ，またリゾチーム染色陽性であった。したがって，骨・軟骨移行部の侵食破壊には軟骨細胞由来の単核大型細胞が関与していると考えられた。

また，軟骨下骨組織では骨吸収像と同時に類骨形成がみられ，骨髄腔側にも強い炎症とその修復が起こっていると考えられた。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は慢性関節リウマチと診断され人工膝関節置換術時に切除した19症例20膝を用いて，免疫組織化学染色により骨・軟骨移行部の病態を検討したものである。関節軟骨の侵蝕破壊に関して軟骨の残存度から進行過程を4段階に分類するとともに，軟骨破壊と同時に骨髄腔側にも強い炎症と修復が起こっていることを見いだしたものであって，価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。